

平成29年度

事業報告書

社会福祉法人 崇徳会
高齢者総合ケアセンター
マザーアース

目 次

1. 施設の概要	1
2. 沿 革	1～4
3. ケア報告	5～8
4. 苦情報告	8
5. 安全衛生委員会	9
6. 特別養護老人ホーム	
(1)入所の状況	10
(2)月別入退所者数	11
(3)行事実施状況	12～13
(4)面会状況	14
(5)外出状況	14
7. 在宅支援について	
(1)短期入所生活介護現況	15
(2)短期入所 報告	16
(3)年間短期入所生活介護利用状況	17
(4)年間通所介護利用状況	17
(5)年間通所介護利用状況	18
(6)通所介護報告	19
(7)通所介護年間行事	20
8. 施設内事故報告	21～22
(1)事故・ヒヤリハット件数報告	23
(2)事故発生場所 時間	23
(3)ヒヤリハット発生場所 時間	23
9. ボランティアの受け入れ状況	24
10. 実習の受け入れ	25
11. 学習支援	25
12. 職員研修・施設内研修	26～29
13. 健康管理	
(1)健康管理処置状況	30
(2)通院・入院状況	31
(3)常食給与栄養摂取量	32
(4)行事食実施記録	33
(5)平成29年度反省点	34
14. 居宅介護支援事業所	35
15. 高齢者あんしん相談センター	36～37
16. あんしんセーフティネット事業	38

1. 施設の概要

- (1) 名 称 社会福祉法人 崇徳会
高齢者総合ケアセンター マザーアース
- (2) 所在地 埼玉県ふじみ野市大井621-1
- (3) 開 設 平成5年8月1日
- (4) 事業所(定員) 介護老人福祉施設(56名) 短期入所生活介護(14名)
通所介護(25名)
居宅介護支援事業所 高齢者あんしん相談センター
- (5) 敷地面積 4,430.53㎡
- (6) 建物面積 RC造2階建て 2,377.77㎡
- (7) 職員数 施設長 1名 副施設長 2名 事務員 4名
相談員 2名 看護師 4名 ケアワーカー 37名
主任介護支援専門員 2名 介護支援専門員 4名 社会福祉士 1名
保健師 1名 管理栄養士 1名 調理員 11名
施設管理 2名 委託医(非常勤) 2名
- (8) 業務内容 心身に障害があるなど介護保険に該当する65歳以上の第一号被保険者及び40歳以上65歳未満の第二号被保険者(心身に障害があり、その原因となる疾患が特定疾患と認定された者)で、要介護状態と認定された者に対する必要な介護サービスを行う。

2. 沿革

- 平成5年 7月 社会福祉法人 崇徳会 認可
理事長に 野溝 伊之助 就任
- 7月 特別養護老人ホーム マザーアース 認可
施設長に 田貝 邦子 就任
- 8月 マザーアース開設
- 10月 デイサービス開設
- 平成6年 7月 社会福祉協議会特別会員入会
- 平成7年 8月 夏祭り開催(近隣住民招待)・家族会の発足
- 12月 中国安徽省人民政府市長代表視察団来訪
- 平成8年 8月 三周年記念夏祭り開催(近隣住民・ボランティア等招待)
- 平成9年 4月 在宅介護支援センター開所
- 9月 施設長 田貝 邦子 退任
- 10月 施設長 野溝 守 就任
- 平成10年 8月 開所5周年記念行事
- 平成11年 2月 サービス評価事業実施
- 10月 居宅介護支援事業所開設
- 平成12年 4月 介護保険事業による通所介護・短期入所生活介護・訪問介護を開始。
併せて施設名称を社会福祉法人崇徳会 高齢者総合ケアセンター
マザーアースと改める。
- 平成13年 4月 通所介護事業の定員を20名から25名に増員。
- 10月 申出窓口及び第三者委員の設置

平成14年	8月	開設10周年記念行事
	9月	埼玉県共同募金会「共同募金受配要望事業」により 送迎リフト車整備
平成15年	3月	入所制度の改革により入所検討委員会を設置
	4月	短期入所生活介護事業の定員を16名から20名に増員 訪問介護事業を廃止する。
平成16年	2月	日本財団「福祉車両助成事業」により送迎リフト車整備
	5月	郵政省「社会福祉事業」により特殊機械浴槽チェアインバス整備
平成17年	10月	大井町・上福岡市が合併によりふじみ野市となる
平成18年	4月	介護保険制度の改正により、地域支援事業（介護予防事業）が 制度化される
平成19年	3月	在宅介護支援センター閉所
	3月	理事長 野溝 伊之助 退任
	4月	理事長 野溝 守 就任
	4月	地域包括支援センター開所
平成20年	3月	開設15周年記念行事 「堀田 力氏」講演 共催 大井町社会福祉協議会（大井町社会福祉協議会歳末福祉事業配分事業）
	6月	本田技研労働組合研究所支部よりステップワゴン寄贈
	11月	「介護サービス公表」の訪問調査を受ける
平成21年	2月	日本財団「福祉車両助成事業」により送迎リフト車整備
平成22年	2月	介護老人福祉施設事業の定員を50名から56名に増員する 短期入所生活介護事業の定員を20名から14名に変更する
	10月	埼玉県 生活保護世帯の学習支援事業スタート
	11月	平成22年度 松下福祉基金 民間社会福祉施設永年勤続職員海外派遣研修「デンマーク」 相談員が参加
平成23年	3月11日	14時46分 東日本大震災の発生 原発事故の被災者2名受け入れる 被災者受入れ調査（埼玉県福祉部高齢福祉課）に受入れ可と回答 原発被災者（大熊町）の受け入れ1名 介護職員派遣依頼（埼玉県福祉部高齢福祉課）3名派遣 原発被災者（檜葉町）の受け入れ1名 寄付金 17万円を埼玉県老人施設協議会に送金
	12月	第5回埼玉県高齢者福祉研究大会 分科会にて 「終末の方のケアサービス利用について」の研究発表を行う。
平成24年	6月	介護職員等による喀痰吸引等の実施の体制整備（認定者6名）
平成25年	5月	社会福祉法人として「彩の国あんしんセーフティネット事業」に 取り組む （「彩の国あんしんセーフティネット事業」とは 地域の政経困窮者からの身近な相談機関となり、市町村社協と協 働して経済的援助を含めた即応性のある対応を図るとともに、継

継続的な支援を行う事業)

- 7月 生活保護世帯の就労体験 3名受け入れ
- 8月30日 「マザーアース 開設20年記念パーティー」 開催
- 9月11日 生活保護受給者チャレンジ支援事業の現場視察のため
田村 憲久厚生労働大臣 来訪
- 平成26年 2月 「介護の魅力PR隊」へ参加
- 8月 「平成26年度 県費補助金 大規模修繕工事」 着工
- 9月 「彩の国あんしんセーフティネット事業」 開始
埼玉県第2ブロック拠点施設となる。
「埼玉県高齢者福祉研究大会」にて
「高齢者施設で定着しない同性介助について」 研究発表を行う。
- 10月 「ふじみ野市介護支援ボランティア制度」開始
ふじみ野市より受け入れ施設として指定される
- 平成27年 1月 「平成26年度 県費補助金 大規模修繕工事」 竣工
赤い羽根 平成26年度事業共同募金交付事業による
ナースコール設置
- 3月 マザーアース ホームページ 開設
「福祉の心を育む交流事業」ふじみ野市教育委員会にて
各学校（東台小、東原小、大井小、大井中）へ学校図書
購入費を寄付
- 9月 「埼玉県高齢者福祉研究大会」分科会にて
「介護現場における声掛けについて」研究発表を行う
- 11月 東台小との交流を皮切りに「福祉の心を育む交流事業」が
始まる
民間社会福祉施設永年勤続職員海外派遣研修「デンマーク」
相談員が参加
- 平成28年3月7日 「福祉の心を育む交流事業」にて
各学校（東台小、東原小、大井小、大井中）へ
学校図書の購入費を寄付
- 4月14日 熊本地震発生
- 5月13日 熊本地震寄附金110,000円を全国老人福祉施設協議会へ送金
- 8月 1日 埼玉県多様な働き方実践企業ゴールド認定
- 10月 4日 喀痰吸引等の実施の体制整備（認定者2名）
- 11月 9日 公益財団法人埼玉県産業文化センターと日本フィルハーモニー
交響楽団の共催による「日本フィルハーモニー交響楽団弦楽
四重奏コンサート」の開催
- 11月23日 「福祉の心を育む交流事業」にて東台小と交流
5年生を対象に「福祉」についての説明会開催
- 12月19日 赤い羽根 平成28年度事業共同募金交付事業による
アプローチ舗装工事竣工
- 12月30日 「関東郵便局長会」よりおせち料理が寄贈される

- 平成29年 2月 9日 「福祉の心を育くむ交流事業」にて東原小と交流
マザーアースにて演奏会を開催
- 3月20日 「福祉の心を育くむ交流事業」にて大井中と交流
マザーアースにて音楽部による合唱会を開催
- 3月 「福祉の心を育くむ交流事業」にて
各学校（東台小、東原小、大井小、大井中）へ
学校図書を購入費を寄付
- 4月19日 「日産プリンス埼玉販売㈱」様より社会貢献活動の一環として
車いす1台寄贈される。
- 6月10日 公益財団法人JKA主催リングプロジェク・ホトレス補助事業
による、特殊浴槽（寝位浴槽）を設置
- 9月15日 「埼玉県介護ロボット普及促進事業」より補助金を頂き、
見守りケアシステム内蔵、低床3モーターベッド3台購入
- 9月19日 デイサービスの送迎車を新たに購入（リース）
- 9月28日 「福祉の心を育くむ交流事業」にて、東台小学校と交流
5年生を対象に「福祉」についての説明会を開催
- 10月 7日 「アートフェスタふじみ野 2017」にデイサービス利用者様の
作品を展示
- 10月22日 チェアインバスを入替購入（リース）
- 11月 6日 福利厚生の一環としてコーヒーマシン導入（㈱カシマコーヒ-）
- 11月15日 「福祉の心を育くむ交流事業」にて
及び22日 東台小学校児童とマザーアースにて交流会を開催
- 12月11日～ 居宅介護支援事業所・高齢者あんしん相談センターの
外壁塗り替え工事開始
- 12月20日 埼玉県高齢者福祉研究大会にて
「レクリエーションの楽しみ方について」の研究発表
作品展のデイサービス利用者様の作品を出品
- 平成30年1月31日 居宅介護支援事業所・高齢者あんしん相談センターの
外壁塗装終了
- 2月21日 「埼玉県介護ロボット普及促進事業」より補助金を頂き、
介護ロボット「ハル」を2台購入（リース）
3月29日納品
- 「福祉の心を育くむ交流事業」にて
- 3月10日 大井中と交流
マザーアース内にて合唱部による音楽会を開催
- 3月16日 東台小と交流
マザーアース内にて音楽クラブによる合唱会を開催
- 3月 「福祉の心を育くむ交流事業」にて
各学校（東台小、東原小、大井小、大井中）へ
学校図書を購入費を寄付

3. ケア報告

【特別養護老人ホーム】

平成29年度は、利用者の居心地の良さをテーマにし、楽しみと生きがいのある生活を考え、事故を未然に防ぐ為に事故防止の検討、人材育成では基本的なOJTから重点的に行った。

- (1) 排泄介助では、ミーティングで利用者ひとりひとりに合った排泄用品と方法を検討し、安全と本人の意思を尊重し、出来るだけトイレでの排泄を行った。
- (2) 余暇活動では、アロマオイルを使った足湯や上下肢のマッサージを行い、血行を促し、拘縮や麻痺がある方には可動範囲内でのリハビリも兼ね、健やかに過ごして頂けるように努めた。

毎月のお茶会と行事では、季節に合ったレクリエーションを行い、なかでも、パンケーキや南瓜お萩などのおやつ作りは利用者に人気があり、楽しまれていた。利用者の「居心地の良い場所作り」をテーマに話し合い、コミュニケーションを増やすきっかけとなるよう、廊下に折りたたみが出来るテーブルを設置した。脳トレ、色塗り、クイズなどの軽作業がすぐ出来るようになり、また、お茶飲みやコミュニケーションが作り易い環境を整えることができた。

土日には食堂で、プロジェクターを使用し、お年寄りが好まれるコンサートや映画を大きなプロジェクターに映し、上映会を開催した。

- (3) OJT（施設内研修）では、「入浴事故防止対策」「排泄介助」「高齢者虐待防止」「事故防止」「感染症予防対策」「リハビリ」「看取り介護」「人権擁護」「ケアプランのチェック表の書き方」「褥瘡予防」「口腔ケア」「接遇」「夜間転倒時の対応」「介護記録」「苦情について」など実施し、職員の資質の向上を図った。
- (4) 口腔ケアでは毎月、歯科医や歯科衛生士から助言と指導をして頂くと共に、計画書を作成し、8020運動を目指し、実施した。
- (5) 施設内で死亡された方が13名。（看取り介護8名）

御家族が主治医から「今後は看取りの介護になります」との話を聞き、職員と共に看取りのためのケアプランを作成した。

「今日という日を大切に過ごされる」ために日課で予定されない生活を重視した。徐々に衰えていく利用者に合わせて看護、介護、栄養面で配慮しながら、時間を問わず、頻繁に訪問されるご家族には、相談員を中心に気持ちの整理と心の準備について援助した。泊まってついていてあげたいというご家族の気持ちに寄り添い、ご家族も泊まれるよう同じ部屋にベッドも置いた。

看取り介護が終わり、ケアの振り返りを行うカンファレンスでは、納得の出来る介護が出来たかどうか、今後、より良い看取りを提供していくには、どうすれば良いかを常に考えて向上を図った。

「終のすみか」としての役割を果たせるように、更なる精進をしていく。

- (6) 「看護は介護がなくては活かされない」「介護は看護がなくては安心できない」を基本に医療と介護の連携を行った。
- (7) 虐待防止に係る取り組みとしては、虐待防止対策のために外部研修への参加や施設内にて「アンガーマネジメント」の研修の実施、心配事やイライラが仕事に差し支えない様に職員のストレスのセルフコントロールが出来るよう職場環境の整備を行った。
- (8) 感染症対策への理解
インフルエンザやノロウイルス等の感染症は29年度も流行した。特にインフルエンザは猛威をふるい、職員やその家族の一部にも影響があった。利用者、職員は全員インフルエンザの予防接種を実施し、職員や職員の家族が感染した際の健康管理ガイドラインに従って対応をとった。除菌スプレーの使用や換気により空気内洗浄を実施し、基本的な手洗いうがいが各自しっかりと行い、予防に努めた。今年度は何名かの利用者が感染してしまったが、大事には至らなかった。

【デイサービス】

- (1) 生活援助
ご利用者の在宅生活の様子をご家族、ご本人、ケアマネジャーから話を伺い、また連絡帳を通して情報交換を行い、報告・連絡・相談を徹底する事により、安全で快適な生活を提案するよう努めた。
- (2) 日常動作訓練（生活リハビリテーション）
高齢者に多い転倒、誤嚥などのリスクを考え、予防の意識を個々に持っていただけるように声かけを行い、体操やレクリエーションを通して身体機能の維持に努めた。
- (3) 相談
ご利用者から相談がある時は良く話を伺い、必要に応じてご家族・ケアマネジャーとも連絡を図り、安心した生活を送れるように援助した。
- (4) 送迎サービス
ご利用者の身体の状況や介護状況に合わせた送迎を行い、また車酔い等の個々の事情も考え、安全面にも配慮した送迎を行えた。雨天時は特にステップ乗車の際等に、滑らないように注意を払った。
- (5) 入浴サービス
ご利用者、ご家族のほとんどの方はデイサービスでの入浴を希望されている。ご家庭での健康状態、家族、ケアマネジャーからの情報を元に健康チェックを行い無理のない入浴を実施するよう努めた。入浴中の事故を防ぐため、日頃のヒヤリハットを参考にして職員間の声かけ、ご利用者に対しての見守り・声かけなど安全面に配慮するようになった。又「楽しみとしての入浴」を目標に実施した。
- (6) 食事
栄養バランスの他、粥食・荒刻み食・極刻み食・ミキサー食・代替食等、できる限りの要望が満たせるよう栄養士と検討し提供した。ご利用者の声を大切に厨房

との連携も図った。朝の会で献立を紹介する事で、想像力をかき立てるようにしながら、脳の活性化を促した。

(7) 介護サービス

ご家族との状況交換を密にし、各ご利用者のADLに合った介護を提供した。ご利用者に対して画一的な対応でなく、個別の対応も取り入れた。

(8) 介護予防

運動器の現状維持、口腔機能の向上に関するサービスの提供を行い、要支援、要介護状態の改善や重度化の予防に取り組んだ。また、ご利用者ができる限り自立した生活を送れるような支援を心がけた。

(9) 通所介護計画

サービス担当者会議等で、ご利用者の日常生活の状況や希望を確認し、日頃のデイの様子も考え、居宅サービス計画に沿っての通所介護計画を作成した。半年ごとの見直しを行い御家族、ケアマネジャーに計画内容を理解して頂いた。

(10) 趣味活動

各ご利用者のADL、興味に合ったプログラムを準備し、御利用者の楽しみになるよう提供した。主に紙工作、縫物、編物、色塗り、壁画の共同制作など手指のリハビリにつながるよう御利用者に参加して頂いた。楽しみにつながり、心身の活性になる内容を提供するように努めた。また、舞の会、3B体操、ちぎり絵、生け花、ハーモニカ、書道等の指導はボランティアの方についても継続してお願いしている。音楽療法、ハンドケア・ネイルアートを定期的に行った。

(11) 行事

四季折々の行事を企画して、季節の移り変わりを感じて頂き、心身の活性へとつなげていった。又「デイサービスを利用して楽しかった」と少しでも感じていただけるようにサービスを提供した。

(12) 職員教育

定期的な研修、意見交換の場（帰りのミーティング）を計画し、日々の業務、利用者へのサービス提供に共通意識をもって取り組んでいけるようにした。今行なっていることが最高とは思わず、いつでも上を目指しながらサービスに勤しむように心掛けた。

【ショートステイ】

(1) 緊急時

ふじみ野市との契約で、緊急受け入れを行なっている。
平成29年度は4名の相談をいただき、3名の受け入れをした。
また、地域包括支援センターからの依頼にも迅速に対応した。

(2) 利用状況

定員14名の中で、定期的にロングショートステイの方を確保していた。前年と比べて実人数は減っているが、利用日数は増えている。これはロングショート

をしっかりと確保していたという事であり、安定した施設の収入に繋がっている。

(3) 利用者確保

利用予約を待っているだけでお客さんが来る時代ではないということを再認識して、入所待機者のケアマネへ当施設のショートステイを利用して頂くように声掛けを随時行なった。又、見学者に対しても、送迎を行なう等、利用者様、ご家族のニーズに沿った対応も行ってきた。

4. 苦情報告

第三者委員の連絡先は、常時廊下の掲示板に貼り出している。第三者委員への連絡を入れる事はなかった。第三者委員に対して苦情の報告会を行い、ひとつひとつ説明し意見を頂いた。

第三者委員の方からは苦情が年々減っており、職員の対応の仕方も良くなっていると思うとの意見を頂いた。些細な苦情も書類に残し改善を図ることでサービスの向上を図った。

苦情の内容は、職員の処遇方法、荷物の管理方法、職員間の連携が図れていない事が挙げられた。

平素事故防止のためヒヤリハット委員会を中心に事故の原因やその背景を検討し、対策を考えているが、生活の場としての「身体拘束に依らない介護」には、リスクが常に伴っている。怪我をさせない責任を果たそうとすると、ご本人の自由を制限する方向にいつてしまう。かといって、マンツーマンでは見ていられない現実がある。

今まで通り事故を回避する対策は取るものの、防ぎきれない事故もありうるということを、施設とご家族の問題だけでなく、広く社会の方々にも理解して頂きたい。

「専門職（プロ）だろう」と言われ、怪我をさせないのが当たり前のような考えは、荷が重い。私たちは、どんな障害や問題がある方でもその方にとって、一番良い対応を考えようとすることに専門性を感じている。

今回「いかに事故を起こさないようにするか」も当然大事だが、それ以前に職員間の情報共有やマザーアースの職員である事をひとりひとりが自覚し対応に当たるようにしなければならない。当施設のような「生と死」が隣り合わせの環境の場合、ご家族が感情的になるケースがある事に鑑みて、想いを受け止めていけるようにしていかなければならない。

第三者委員の方々には、苦情対応の難しさや当施設での真摯な対応を理解していただき、今後の改善についてはより一層努力するように助言をいただいた。

5. 安全衛生委員会

(1) 活動実績

- 安全面・衛生面に問題がないか施設内の定期巡回・点検を行った。
- 産業医による環境のチェックを行った。
- 職員の心の健康について
 - ・職員の精神的な問題について相談・受診などのサポートを行った。
- 感染症対策について
 - ・手洗いうがいの徹底、個々の健康管理に関する呼びかけ・ポスター掲示を行った。
 - ・職員会議にて食中毒や感染症の研修を行った。
 - ・利用者のご家族にも、面会の際手洗いうがいの呼びかけを行い、館内に病原体を持ち込まないようにした。
 - ・施設におけるノロウイルス対策の講義に参加した。また、その内容を職員に対して研修を行い、徹底に努めた。
- 健康診断を基にD・E判定の職員へ受診等を促した。

(2) 30年度の活動予定

- 引き続き施設内の定期的な巡回・点検を行い、安全・衛生管理を行っていく。
- 流行感染症への対策を行い、感染症の発生および拡大予防に努める。
- ストレスチェックの実施。検査後のサポートを行う。
- 健康診断を元にした、職員の健康管理のサポートを行う。

6. 特別養護老人ホーム

(1) 入所の状況

① 保険者別 (H30.3.31現在)

保険者	男	女	計
ふじみ野市	14	35	49
富士見市	0	0	0
三芳町	1	1	2
川越市	2	1	3
能代市	0	1	1
東松山市	0	1	1

② 年齢構成 (H30.3.31現在)

区分	男	女	計	割合
65～69歳	0	0	0	0%
70～79歳	5	0	5	9%
80～89歳	8	20	28	50%
90～99歳	2	21	23	41%
100歳以上	0	0	0	0%

③ 平均年齢 (H30.3.31現在)

(才)

	最高年齢	最低年齢	平均
男性	95	71	82.5
女性	97	71	89.4

男女平均 (86.0)

④ 平均介護度の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均介護度	3.98	4.00	4.00	3.96	3.96	3.94	3.96	3.89	3.91	3.91	3.91	3.92

⑤ 要介護度入所者構成 (H30.3.31現在) 平均介護度 4.0

要介護1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
0	0	20	19	17	56

(2) 月別入退所者数

	前月末人員	本月入所者	本月退所者	本月末人員
4月	56	1	1	56
5月	56	0	0	56
6月	56	0	0	56
7月	56	2	2	56
8月	56	2	2	56
9月	56	2	2	56
10月	56	0	0	56
11月	56	2	2	56
12月	56	1	1	56
1月	56	1	1	56
2月	56	0	0	56
3月	56	3	3	56
合計	672	14	14	672

入所者
男性 5名、
女性 9名

退所者
男性 3名、
女性 11名

* 退所理由
→ 死去 12名
(ホーム内での死去 8名)

※御家族や囑託医の協力を得て各職域の全力ケアのもと
ホーム内で安らかなターミナルを迎えられた方達が8名
いらっしゃいました。

(3) 行事実施状況

①年間行事実施状況

月	日	行事名
4月	27	ホーム喫茶
5月	25	ホーム喫茶
6月	17	舞の会
	27	入所者健康診断
7月	4	少年剣道慰問
	13	フルート演奏会
	27	ホーム喫茶
8月	5	夏まつり
	24	ホーム喫茶
9月	18	敬老会
	28	ホーム喫茶
10月	11	なみき幼稚園マーチングバンド
	26	ホーム喫茶
11月	9	フルート演奏会
	10	大井小学校音楽会 鑑賞
	15・22	東台小学校 交流会
	16	舞の会
	23	ホーム喫茶
12月	10	東入間警察少年剣道 交流
1月	17	舞の会
	25	ホーム喫茶
2月	21	舞の会
	22	ホーム喫茶
3月	8	東原小学校音楽クラブ発表
	10	大井中学校合唱部発表 福祉クラブ交流
	21	舞の会
	22	ホーム喫茶
	30	移動カフェ

※「福祉の心を育む事業」では、今年も近隣の小中学校を対象として交流を行い、施設は学校図書を寄付する流れを社会福祉協議会と一緒に協力しながら、世代間交流を深めています。

② 週間のケア

	AM				PM		
	特 A	特 B	ショート	入浴	特 A	特 B	ショート
月	※	※	遊ビリ 脳トレ・色ぬり	Aグループ	口腔アセスメント 将棋ボラ	包布交換	※
火	美容	美容	美容 車椅子清掃	Bグループ	居室水モップ	口腔アセスメント 居室水モップ	※
水	ちぎり絵	※	ちぎり絵	Cグループ	ミーティング	ミーティング	※
木	※	※	※	Aグループ	将棋ボラ トイレ清掃	トイレ清掃	ミーティング
金	習字教室	※	習字教室	Bグループ	回診 居室水モップ	回診 居室水モップ 遊ビリ	回診
土	浴室清掃	※	浴室清掃	Cグループ	環境整備	環境整備	環境整備
日	環境整備	環境整備	環境整備	希望者	足浴 ケアプラン記録 車椅子清掃	足浴 ケアプラン記録 車椅子清掃	ケアプラン記録 カラオケ喫茶 シアター 車椅子空気入れ

※ 毎日の業務

- ・入浴 利用者あたり 週二日 実施
- ・シーツ交換 利用者あたり 週一日 実施
- ・水分補給 毎日、午前、午後に実施
- ・部分清拭、眼脂清拭 2階フロア毎日実施
- ・口腔ケア 毎日実施 アセスメント週一回
- ・髭剃り、整容 火曜、金曜、日曜
- ・食堂清掃
- ・コミュニケーション

ショートステイ業務

ショート利用者の入退所業務
送迎、荷物整理、ベッドメイキングなど

③月間・年間実施表

月 間 実 施 表

舞の会・3B体操・学生ボランティア
レクリエーション・ホーム喫茶・体重測定
懇話会・コーヒータンタイム・精神科
ナースコールチェック・お茶会

職員会議・リーダー会議・各部署会議
特養会議・給食会議
ホーム内研修・検便
はなみずきの会(虐待防止委員会)

年 間 実 施 表

利用者健康診断
職員健康診断
外部研修(OFF-JT)
施設内研修(OJT)

(4) 面会者状況

平成29年4月1日～平成30年3月31日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
面会者数	244	203	213	232	180	195	179	201	192	176	126	175

1年間合計 2,316人
月平均 193人

(5) 外出状況

平成29年4月1日～平成30年3月31日

平成29年度は、自宅への外泊が3名、ご家族との外出（食事・買い物）が4名、行事などの外出が10名いらっしゃいました。その他、外出できない方もいらっしゃるのので、マザーアースの庭でカフェの開催など、外気に触れる機会を設けました。

外泊・外出時には介護タクシーの手配や屋内の出入りがし易いようにスロープを貸し出すなど施設で協力できることを行いました。

面会に訪れるご家族は定期的に来られる方が主で、面会のない利用者の方も数名いらっしゃいました。

7. 在宅支援について

(1) 短期入所生活介護現況 (H30.3.31現在)

① 保険者別 (H30.3.31現在)

保 険 者	男	女	合計
ふじみ野市	3	12	15
富士見市	0	0	0
狭山市	0	1	1
三芳町	1	1	2
川越市	2	0	2
合計	6	14	20

② 年齢構成 (H30.3.31現在)

区分	男	女	計	割合
40～69歳未満	0	0	0	0%
70～80歳未満	3	1	4	40%
80～90歳未満	1	2	3	30%
90～100歳未満	0	3	3	30%
100歳以上	0	0	0	0%
合 計	4	6	10	100%

③ 平均年齢 (H30.3.31現在)

(才)

	最高年齢	最低年齢	平均
男性	88	71	76.0
女性	99	78	89.8

男女平均 (84.3)

④ 平均介護度の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均介護度	2.7	2.7	3.0	3.0	2.9	2.8	3.0	2.9	3.2	3.3	3.3	2.7

⑤ 要介護度別構成

要介護1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合 計
0	3	4	2	1	10

(2)平成29年度 短期入所 報告

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実人数(29年)	19	21	22	21	28	23	25	20	20	16	18	20	253
延人数(29年)	311	338	345	363	363	354	382	307	337	320	256	332	4,008

2.平均利用者数 平成29年度 平均 11.3 人/日

3.総利用者数 平成29年度 253人/月 計 4,008 人

4.介護度別利用日数

H29年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
要介護1	8	8	17	8	10	15	16	13	30	19	14	4	162
要介護2	70	71	56	69	90	76	79	70	85	67	61	62	856
要介護3	101	128	118	128	135	116	82	77	106	143	89	188	1,411
要介護4	78	70	60	58	39	72	132	77	43	23	28	37	717
要介護5	54	61	94	100	89	75	73	70	73	68	64	41	862
計	311	338	345	363	363	354	382	307	337	320	256	332	4,008

要介護3～5 平成29年度 2,709人 およそ78%

平均介護度 … 3.4

平均利用者日数… 15.8日/月 ⇒ロングショートを多く入れている。

平均利用者年齢… 84.3

(3)年間短期入所生活介護利用状況(自費払い含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人員	20	23	22	19	22	24	19	19	20	16	14	19	237
延べ人数	227	274	293	311	397	357	286	294	251	254	252	272	3,468
1日平均(日中)	8.0	9.5	10.0	11.5	10.4	11.6	8.6	10.0	9.3	8.3	9.0	9.4	9.7
平均利用日数	11.4	12.0	13.3	16.4	18.0	15.0	15.0	15.5	12.6	15.9	18.0	14.3	14.8

(月平均 実人員 19.8 月平均 289.0)

(4)年間通所介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人員	28	28	30	31	32	32	29	30	32	32	33	33	370
延べ人数	267	301	327	312	335	320	298	322	315	287	273	332	3,689
介護予防 実人員	8	7	6	6	5	5	5	5	4	4	4	4	63
介護予防 延べ人数	47	48	33	36	30	25	28	25	19	24	18	23	356
1日平均(日中)	15.7	15.1	16.3	16.5	15.8	16.4	14.8	15.7	15.9	15.5	14.5	16.1	16.5

(5) 通所介護現況(H30.3.31現在)

①保険者別

保険者	男	女	合計
ふじみ野市	6	27	33
富士見市	0	2	2
三芳町	0	1	1
日高市	0	1	1
合計	6	31	37

②年齢構成

区分	男	女	計	割合
40～70歳未満	2	0	2	5%
70～80歳未満	1	4	5	14%
80～90歳未満	3	20	23	62%
90～100歳未満	0	7	7	19%
100歳以上	0	0	0	0
合計	6	31	37	100%

③平均年齢

	最高年齢	最低年齢	平均
男性	88	69	78.3
女性	97	73	86.4

④平均介護度の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均介護度	1.58	1.57	1.61	1.64	1.67	1.72	1.70	1.74	1.75	1.72	1.81	1.91
要支援1・2	8	7	6	6	5	5	5	5	4	4	4	4

⑤要介護度別構成

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
1	3	13	7	8	5	0	37

(6) 通所介護報告書(H29.4月～H30.3月)

①利用延べ人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ人数	314	349	360	348	365	345	326	347	334	311	291	355
利用日数	20	23	22	21	23	21	22	22	21	20	20	22
平均利用者数	15.7	15.1	16.3	16.5	15.8	16.4	14.8	15.7	15.9	15.5	14.5	16.1

②介護度別延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援 1	8	10	12	12	4	4	4	5	0	5	4	4
要支援 2	39	38	21	24	26	21	24	20	19	19	14	19
要介護 1	99	121	138	118	132	124	113	130	142	121	119	136
要介護 2	97	118	118	119	127	110	106	112	83	86	82	94
要介護 3	38	29	33	37	40	54	51	51	66	60	50	70
要介護 4	33	33	38	38	36	32	28	29	24	20	22	32
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③介護度別利用者実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援 1	2	2	2	2	1	1	1	1	0	1	1	1
要支援 2	6	5	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3
要介護 1	11	12	13	13	14	13	12	12	15	14	14	13
要介護 2	9	9	10	10	10	10	9	9	7	9	8	7
要介護 3	4	3	3	4	4	5	4	5	6	6	7	8
要介護 4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	5
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	36	35	36	37	37	37	34	35	36	36	37	37

④新規利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
マザー	1	0	0	1	1	1	0	0	1	1	0	2	8
おおい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

※マザーは「マザー居宅」、おおい「包括おおい」、他は「他事業所」

⑤退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
老健	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	3
他施設	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3
マザー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
他界	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※他施設⇒他のデイ・デイクア・ショート等 マザー⇒ショート・入所 他⇒転居など

※他の施設にいかれた理由⇒リハビリがしたい(他のデイクア)・その他施設に入所したい(グループホームのデイ)

マザーの回数が増やせない(他のデイ)・送迎が難しくなった(他のロングショート)

⑥平均介護度・・・1.7

⑦一日平均・・・15.6人 月平均・・・337人

(昨年度 一日平均16.0人 月平均 347人)

(7) 通所介護年間行事

- 4月 マザーアース南庭にてお花見
 地蔵院へしだれ桜 お花見
 りんごのカップケーキ作り (4/28)
- 5月 端午の節句行事 (5/5)・母の日行事 (5/9)
 フルーツ白玉作り (5/31)
- 5月～6月 くら寿司へ外食
 (5/29・5/30・6/2・6/5・6/7・6/8)
- 6月 父の日行事 (6/15)
 フルーツサンド作り (6/27)
- 7月 七夕行事 (7/7)
 パンケーキ作り (7/31)
- 8月 夏祭り (8/30)
 フルーツポンチ作り (8/31)
- 9月 敬老会 (9/19・9/20・9/21)
 お萩作り (9/29)
- 10月 運動会 (10/23・10/24・10/25)
 ミニピザ作り (10/30)
- 11月 お買い物ツアー
- 12月 クリスマス会 (12/18・12/19・12/20)
 クリスマスケーキ作り (12/22)
- 1月 新年会
- 2月 節分行事 (2/1・2/2)
 バレンタインティラミス作り (2/14)
- 3月 雛祭り行事 (3/1・3/2)
 3色白玉のお汁粉作り (3/19)
 地蔵院へしだれ桜をお花見

- ・行事やおやつ作り等の様子をご家族にわかるよう、写真を撮り配布した。
- ・行事やおやつ作りは、季節感を味わえるよう意識しながら取り組んだ。
- ・誕生日会のプレゼントは、手作りの物を全員にお渡しした。
- ・来年度も利用者様に楽しんで頂き、笑顔が溢れるようなデイサービスを目指し、皆様に好評だった「外食・買い物」等、外出の機会を増やしていきたい。
- ・音楽療法、ハンドケア・ネイルアートにも力を入れていきたい。

8. 施設内事故報告

平成28年度			平成29年度	
・ヒヤリハット	155件	→	78件	
・事故	88件	→	111件	

- ・委員会会議は月に2回、15時から実施
月末の最終月曜日に当月の事故・ヒヤリハットの報告と対応策の検討
2週間後の月曜日にフィードバックとして、検討した対応策の結果報告を行ない、
良ければ継続悪ければ再検討する。
- ・平成29年度の集計
 - ① 事故 : 111件 (利用者数 52人) (28年度41人)
骨折 : 4件
病院受診 (打撲、裂傷など) : 9件
 - ② ヒヤリ : 78件 (利用者数 48人) (28年度64人)
 - ③ 今後の課題
 - ・会議の参加
勤務等の配慮があり、委員が出席できた。
委員が会議までに報告書のチェックをできないことがある。勤務内で時間をつくれるよう配慮が必要。
 - ・記録
報告書の提出は職員に習慣づいてきたので内容の向上を目指したい。
日付、時間、状況内容、どう対応したかをきちんと記入する。
また、事故やヒヤリ行動前の巡視や入眠中もきちんと記録することも大切である。
→原因を突き詰めていくと、反省点、今後の対応策が見えてくると思う。
 - ・利用者の状態の把握
 - ① 歩行時のふらつきや転倒、車椅子からのずり落ち、異食、利用者同士のトラブルなど、利用者一人一人が持っているヒヤリ行動を把握して、適切な対応ができるようにする。
 - ② 担当部署以外の利用者に関しても状態を把握して、とっさのヒヤリ行動に対応できるようにしていく。
 - ③ 事故やヒヤリが起きてしまった時は、その日のうちに部署で対応策を話し合い、他の部署にも申し送る。

- ・ 職員の危機管理能力の向上
ヒヤリハットの話し合いの中で、職員一人一人の行動に関する危機意識を計り、低い場合は、危機管理能力を高めるようにしていく。
- ・ 施設全体で利用者の行動について考え、対応していく。
各部署で見守りが困難な時間帯は、見守りが可能な部署や課が、ヒヤリ行動のある利用者の見守りを行うようにしていく。

(1) 平成29年度事故・ヒヤリハット件数報告

(件)

	ヒヤリハット	事 故		ヒヤリハット	事 故
4月	9	16	10月	3	7
5月	5	6	11月	8	6
6月	14	8	12月	4	21
7月	8	7	1月	3	11
8月	6	13	2月	7	4
9月	10	7	3月	1	5

(2) 事故発生場所 時間

	17:31~0:00 準夜勤	0:01~9:00 深夜勤	9:01~12:00 午前中	12:01~17:30 午後	計
玄関		1			1
中庭					
南庭					
お風呂			10		10
ベランダ			1		1
1階 居室	3	5	5	3	16
廊下(談話室)	1	5	6	4	16
トイレ	2	1	1	3	7
食堂		2	2	1	5
2階 居室	4	8	2	4	18
廊下	3	4	3	2	12
トイレ	1	2		2	5
食堂	1	5	3	4	13
その他		1	2	4	7
計	15	34	35	27	111

(3) ヒヤリハット発生場所 時間

	17:31~0:00 準夜勤	0:01~9:00 深夜勤	9:01~12:00 午前中	12:01~17:30 午後	計
玄関				1	1
中庭				2	2
南庭					0
お風呂			4		4
ベランダ			1	1	2
1階 居室	4	5	3	4	16
廊下(談話室)			1	5	6
トイレ	1	1	1	1	4
食堂				2	2
2階 居室	3	2	3	11	19
廊下			6	2	8
トイレ	2		1	2	5
食堂	1	1		2	4
その他			4	1	5
計	11	9	24	34	78

9. ボランティア受け入れ状況

ボランティアの活動は日常的に定着した。特に地域の子供たちの来所は、利用者の楽しみと生きがいになっている。

ボランティア活動状況

ちぎり絵ボランティア	毎週水曜日	3名
地域ボランティア	毎週木曜日	3グループ1～7人
習字ボランティア	隔週金曜日	2名
舞の会（特養） （H30年1月より毎月第3水曜日に開催）	年2～3回	3名～4名
舞の会（デイ）	隔月	3名～4名
3B体操	第一月曜日 第四火曜日	1名
美容ボランティア	毎週火曜日 月3回金曜日	2名
介護相談員	月2回	2名
クラリネット演奏	月1回	1名
民謡ボランティア （H29年11月末 会の解散にて終了）	第二水曜日	5名
傾聴ボランティア	月5回	6名
生け花	月2回	1名
ハーモニカ	月2回	1名

- 学校関係・地域への協力・・・なみき幼稚園・東原小学校・東台小学校
大井小学校・大井中学校・三芳中学校
三芳東中学校

※傾聴ボランティア（むすび）とは・・・

利用者の方の傾聴を必要とする人のお話には耳を傾け、その気持ちに寄り添うことで心や身体の健康を増進。利用者が安心して過ごせるよう、活動して頂いている。

※介護相談員とは・・・

市町村が「事業の実施にふさわしい人格と熱意をもってしていると認められた人で、一定水準以上の養成研修を受けた人」と定められている。

介護相談員は、まず利用者から苦情や不満等をよく聞いたのち、本人への助言や法人側と意見交換を重ねて問題のありかを提示し、サービスの質の改善につながる提案をします。また、行政機関の関与が必要な場合は市町村の事務局を通じて適切な対応策をとります。介護相談員は、サービス利用者・サービス提供者・行政機関の橋渡し役です。

10. 実習の受け入れ

実習期間はさまざまであったが、受け入れの際は担当者を置き、計画的な対応を行った。

6月5日～7月7日	文京学院大学4年生	2人
7月3日	三芳東中学校	6人
7月5日～7月7日	三芳中学校	6人
10月9日～10月25日	立教大学	1人
H30年2月5日～22日	文京学院大学1年生	2名

11. 生活保護世帯の子供への教育支援

月・水曜日の18:00～20:00を学習時間として、中学生（主に生活保護家庭）の教育支援の場として1階の食堂を提供した。支援員、ボランティアの参加も含め一日30人程の出席があった。それぞれに希望の進学先に進むことが出来た。学習の他、クリスマスや年度末の集まりにはお菓子等の差し入れを行い喜んでいただいた。相互の信頼関係が構築できた。

12. 職員研修

(1) 外部研修 (職員の資質向上を図るため、施設外の研修に参加した)

4月	12日	彩の国あんしんセーフティ事業就労支援説明会	3名
	27日	「定期総会」「施設長会議」「情報交換会」	3名
	28日	介護職員合同入職式	4名
5月	1日	H29年度チームリーダーキャリアパス研修 (1、5/10)	1名
	15日	埼玉県福祉専門学校 学内採用ガイダンス	3名
		彩の国あんしんセーフティネット事業 担当相談員養成研修 (15、26、6/9)	1名
	24日	メンタルヘルス推進者養成研修	1名
	25日	埼玉県介護認定審査会委員新規研修	1名
	26日	コミュニティーソーシャルワーク基礎研修 (26、6/15、16)	1名
		彩の国あんしんセーフティネット事業 就労支援担当者養成研修 (26、6/26、7/7)	1名
6月	5日	「人材育成研修」	1名
	13日	給食施設研修会	1名
	15日	埼玉福祉専門学校 学内採用ガイダンス	2名
	23日	感染症基礎研修	1名
	27日	H29年度埼玉県老人福祉施設協議会「定期総会」「施設長会議」「祝賀会」	1名
	30日	H29年度新任介護職員定着支援事業	1名
7月	3日	第1回民間社会福祉施設職員合同研修会 (3、4、5、6)	1名
	10日	職場研修担当者研修会 施設職員コース (10、11、12)	2名
	11日	福祉職員におけるノロウイルス感染対策研修会	1名
	12日	彩の国あんしんセーフティネット事業ブロック会議・研修	1名
	14日	第1回介護保険事業所連絡会	3名
	21日	介護職員施設間交流研修	1名
	27日	社会福祉法人監査研修	1名
8月	4日	看護職員研修会	1名
	23日	「話し方・折衝・交渉力向上研修」	1名
		埼玉県老人福祉施設協議会 相談員研修会	1名
	24日	災害派遣福祉チームに関する施設長向けの説明会	1名

9月	7日	介護職員のための医療・薬の基礎知識 認知症講座	2名 1名	
		第53回関東ブロック老人福祉施設研究総会 (7、8)	4名	
	12日	埼玉県老人福祉施設協議会 施設長研修 (12、13)	1名	
	14日	介護ロボットを使いこなそう!介護ロボット導入・活用講習	1名	
	15日	感染症専門研修	1名	
	20日	松下福祉基金 民間社会福祉施設永年勤続職員国内視察旅行 (20~22)	1名	
	22日	初任者キャリアパス研修 (22、29)	2名	
	25日	社会福祉法人制度改革・監査対応セミナー (25、26)	1名	
	27日	財務管理担当者研修	1名	
	28日	多職種チームケア研修会	2名	
	10月	2日	埼玉県老人福祉施設協議会 介護職員研修会	1名
		4日	スーパービジョン基礎研修	1名
		6日	採用力アップ研修	1名
7日		認知症講座	1名	
11日		埼玉県老人福祉施設協議会 栄養士・調理員研修会①	1名	
17日		H29年度全国老人福祉施設研究会議 高知研修 (17、18)	1名	
20日		接遇研修	1名	
23日		リスクマネジメント研修 (23、11/2)	1名	
27日		レクリエーション研修	1名	
31日		認知症ケア向上研修	2名	
11月	2日	介護記録等書き方研修	1名	
	7日	埼玉県老人福祉施設協議会 入間東支部 第1回職員研修会	2名	
	10日	介護の日記念研修会 介護職のこれまでとこれから	1名	
	13日	アンガーマネジメント研修	1名	
	14日	埼玉県老人福祉施設協議会 デイサービス部会研修会	1名	
		全国老人福祉施設大会 福島大会 (14、15)	2名	
		接遇推進者養成研修 (14、21)	1名	
	21日	埼玉県認知症介護基礎研修	1名	
		埼玉県老人福祉施設協議会 生活相談員・介護支援専門員合同研修会	1名	
		介護支援専門員研修会	1名	
24日	養介護施設従事者等向け高齢者虐待防止研修	1名		
28日	H30年度介護等体験事業実務説明会	1名		
29日	コミュニケーション力向上研修	1名		
12月	5日	埼玉県リハビリ・介護ロボット研究会	1名	
	6日	看護職員研修会②	1名	
	7日	診療・介護報酬同時改定セミナー	1名	
	20日	埼玉県高齢者福祉研究大会	7名	

1月	10日	H29年度広報に関する研修	2名
	16日	二市一町高齢者虐待防止ネットワーク主催研修会	4名
	17日	彩の国あんしんセーフティネット事業 就労支援担当者連絡会議	3名
	19日	H29年度認知症初期集中支援チーム 症例報告書	1名
	22日	彩の国あんしんセーフティネット事業担当相談員専門研修～ひきこもり支援～	1名
	23日	チューター養成研修 (23、24)	1名
	26日	介護職員施設間交流研修	1名
	30日	腰痛予防研修	1名
2月	5日	埼玉県老施協 日本初！介護ロボットを活用した腰部負荷軽減プロジェクト	3名
		彩の国あんしんセーフティネット事業 第2回ブロック全体会議・研修	3名
	6日	中堅職員フォローアップ研修 (6、7、20、21)	2名
	14日	H29年度ストレスマネジメント研修	1名
	16日	埼玉県老施協 職員研修会	4名
	21日	関東ブロックカンントリーミーティング (21、22)	8名
		福祉車輛安全運転講習会	1名
	23日	第2回社会貢献活動推進連絡会議	3名
	27日	全国老施協 いま介護現場に必要なICT・介護ロボット導入促進セミナー	1名
	28日	第3回経営協セミナー	1名
3月	7日	H29年度第2回研修委員会	1名
	9日	H29年度経営戦略セミナー	3名
	15日	H29年度経営戦略セミナー (15、16)	2名
	16日	H29年度第4回福祉用具研修会	1名
	27日	全国老施協 いま介護現場に必要なICT・介護ロボット導入促進セミナー	2名

(2) 施設内研修

- | | | |
|-----|-----|---------------------------|
| 4月 | 3日 | 新入職員研修 |
| | 15日 | 入浴事故の防止のために I |
| | 21日 | 適切な排泄介助を行うために |
| | 26日 | 高齢者虐待防止のために I |
| | 26日 | 館内消防用設備について |
| 5月 | 24日 | 館内消防設備及び避難訓練の説明 |
| 5月 | 31日 | 事故発生防止のために I 「ヒヤリハット」年度報告 |
| | 31日 | 服薬誤薬事故発生の防止について ① |
| 6月 | 28日 | アルジョ浴の入浴方法の説明 |
| | 28日 | 感染症対策について I |
| | 28日 | 感染症対策について I (食中毒予防) |
| 7月 | 22日 | 体交枕の当て方について |
| | 26日 | 看取り介護について ① |
| | 31日 | 総合消防訓練について |
| 8月 | 30日 | 人権擁護について |
| 9月 | 20日 | 様々な皮膚病変とその対応について |
| | 27日 | 口腔ケアについて |
| 10月 | 25日 | 感染症対策について II |
| | 25日 | 感染症対策について II (食中毒予防) |
| | 26日 | 入浴事故の防止のために II |
| 11月 | 16日 | ケアプランのためのケアチェック表の書き方 ① |
| | 29日 | 事故発生防止のために |
| | 29日 | 服薬誤薬事故発生防止について ② |
| 12月 | 6日 | ケアプランのためのケアチェック表の書き方 ② |
| | 21日 | 褥瘡予防について |
| 1月 | 30日 | 特養職員としての接遇について考えよう ① |
| 2月 | 6日 | 特養職員としての接遇について考えよう ② |
| | 21日 | 夜間転倒時の緊急対応について ① |
| | 23日 | 夜間転倒時の緊急対応について ② |
| | 28日 | 高齢者の虐待防止のために II |
| | 28日 | 看取り介護について ② |
| 3月 | 1日 | 介護記録について ① |
| | 6日 | 総合消防訓練について |
| | 8日 | 夜間転倒時の緊急対応について ③ |
| | 19日 | 介護記録について ② |
| | 28日 | 苦情について |

12.健康管理

(1)健康管理処置状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検 温	804	844	810	828	832	802	802	759	788	713	744	757	9,483
血 圧 測 定	492	531	518	509	538	479	510	511	493	441	487	545	6,054
体 重 測 定	56	54	56	56	56	56	55	56	56	56	55	56	668
心 臓 貼 布 剤	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0	18
湿 布 貼 布	8	1	7	7	1	18	17	21	2	3	0	0	85
常 時 投 薬	1512	1636	1504	1562	1571	1491	1570	1529	1578	1617	1448	1581	18,599
臨 時 投 薬	256	261	218	255	284	267	295	276	297	269	256	253	3,187
軟 膏 塗 布	272	323	322	312	307	301	321	330	317	337	317	348	3,807
座薬(消炎鎮痛・解熱)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
レ シ カ ル	3	2	6	3	8	7	1	4	3	8	5	6	56
浣 腸	2	3	4	6	3	1	5	8	6	8	7	5	58
摘 便	4	7	2	9	4	3	3	1	4	4	3	6	50
点 眼 薬	278	279	248	272	244	244	252	240	248	250	224	95	2,874
外 科 的 処 置	160	196	178	165	177	143	100	69	137	74	45	47	1,491
点 滴	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	4
酸 素 吸 入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
ネブライザー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
吸 引	1	0	0	0	0	0	0	1	4	0	1	3	10
注 射	0	0	0	0	0	0	0	0	52	0	0	0	52
針・灸・マッサージ	32	32	36	32	32	36	36	24	27	24	24	26	361
臨時処方箋あり	55	57	40	34	27	66	55	4	57	44	97	34	570
ショートステイ	280	304	314	329	321	319	366	247	309	305	230	321	3,645
入 院	51	8	30	15	8	10	11	0	0	33	66	95	327

(2) 通院・入院状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消化器外科	(男)												
	(女)								2				
耳鼻科	(男)												
	(女)						1						
外科	(男)					1							
	(女)								1				
内科	(男)		3	1		1						2	
	(女)		1	1					1	1		1	
泌尿器科	(男)				2	2	1	1	1		1	1	1
	(女)												
整形	(男)								1				2
	(女)	2	4	6	1		3		1	1			1
皮膚科	(男)				3	1							1
	(女)		2		1	5	1	1					
歯科	(男)		1	1					1	5		1	
	(女)					2			1		1	2	
脳外科	(男)							1	2				
	(女)	1				1							
眼科	(男)												
	(女)												
入院 月末現在	(男)			1		1							1
	(女)	2	3	1	1		1	1			2	3	2

(3) 29年度 常食給与栄養摂取量

	エネルギー (Kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミンA (μ gRE)	ビタミンB1 (mg)	ビタミンB2 (mg)	ビタミンC (mg)
マザーアース における 1人1日当りの 栄養必要量	1394	58	39	600	10	730	1.1	1.1	100
4月	1548	67	39	595	10	1052	2.24	1.12	128
5月	1552	65	39	593	10.4	1046	2.24	1.10	129
6月	1541	66	40	574	10	1057	2.23	1.10	126
7月	1551	67	39	570	10	1055	2.24	1.12	128
8月	1546	64	39	572	10	1056	2.23	1.12	129
9月	1553	66	39	601	11	1020	2.24	1.11	130
10月	1533	66	37	588	10.2	1023	2.23	1.11	128
11月	1545	66	38	600	10.4	1040	2.23	1.11	130
12月	1548	66	37	599	10.5	1043	2.24	1.11	132
1月	1547	67	39	599	10	1037	1.71	1.08	128
2月	1544	68	37	585	10.2	1014	2.24	1.13	124
3月	1541	66	38	575	10.2	998	2.23	1.11	124
年間平均	1546	66	38	588	10.2	1037	2.19	1.11	128

(4)平成29度 行事食 実施記録

月 日	行事名	
5月5日	端午の節句	・赤飯・天麩羅 ・ブロッコリーゼリー寄せ ・果物(キウイ) ・清汁(花麩、三つ葉) ・草饅頭
7月7日	七夕	・七夕そうめん ・天婦羅(キス、しし唐、しめじ) ・かぼちゃのそぼろあんかけ ・果物(メロン)・七夕羊羹
7月25日	土用の丑	・ごはん ・うなぎの蒲焼 ・冬瓜のカニ風味あんかけ ・清汁(卵、みつば) ・果物(マンゴー)
9月18日	敬老の日	・赤飯栗添え ・お口取り(サーモン、宝玉寄せ、お多福豆) ・天婦羅 ・煮物盛り合わせ ・清汁(生紅葉麩、三つ葉) ・果物(メロン、巨峰)
10月4日	十五夜	・鮭の月見蒸し ・南瓜のそぼろあんかけ ・味噌汁(花麩、わかめ) ・果物(マンゴー) ・月見まんじゅう
11月3日	文化の日	・菊花寿司 ・メバルの丹波蒸しあんかけ ・ほうれん草の胡麻和え ・清汁(生紅葉麩、三つ葉) ・果物(柿) ・もみじ饅頭
12月22日	冬至	・赤飯 ・鶏肉の甘酢煮 ・南瓜の含め煮 ・清汁(庄内麩、わかめ) ・果物(パイナップル) ・おやつ(柚子ムース)
12月25日	クリスマス	・ちらし寿司 ・鶏肉の照り焼き ・白菜の柚子風味 ・清汁(花麩、みつば) ・果物(パイナップル) ・おやつ(ショートケーキ)
1月1日	お正月	・おせち料理(一の重:エビの鬼がら焼き・数の子・栗きんとん・伊達巻・黒豆煮豆・酢とり生姜) (二の重:里芋饅頭・紅白なます) ・赤飯 ・清汁(生梅麩、三つ葉、柚子) ・果物(苺/ミルクかけ)・甘酒
1月2日	お正月	・おせち料理(一の重:天麩羅・海老とくわいちぎり・山芋磯辺揚げ・スモークサーモン・紅鯉昆布巻・磯風) (二の重:海老と帆立の若菜蒸し・カリフラワーサラダ) ・鯛めし ・清汁 ・果物(白桃缶ゼリー)・甘酒
1月7日	七草粥	・七草かゆ(小松菜・大根・人参・椎茸・鶏肉・卵)・うずら豆佃煮・キャベツのお浸し
1月11日	鏡開き	・おやつにお汁粉
2月3日	節分	・豆ご飯 ・いわしの蒲焼 ・春菊の中華風和え ・清汁(花麩、わかめ) ・果物(苺) ・おやつ(甘納豆)
3月3日	雛祭り	・五目寿司 ・お雛様 ・菜の花の辛子和え ・清汁(花麩、三つ葉) ・果物(苺) ・おやつ 道明寺桜もち、甘酒

(5) 29年度反省点 栄養課

○利用者の身体・精神状態、食習慣に考慮した食事の提供

- ・個々に合った食事を提供できるよう、食事をしている様子を見た。
- ・利用者の嗜好に合った新メニューを増やす。
- ・検食簿の意見や調理員同士の感想を参考に調理法を確認し、悪かった点はレシピを見直し、よかった点は職員同士で共有した。
- ・極刻み食の主菜をソフト食の食材へ切り替えることで、利用者がより安全に召し上がれるよう工夫した。
- ・調理員全員が利用者の食事の様子を見られるよう、機会を増やすことで情報共有化に努める。

○他部署との連携

- ・定期的に栄養管理会議を開き、利用者に合った食事を提供できるよう他部署と話し合いを行った。会議内容を充実させたい。

○職員の質の向上

- ・新入職員の育成に苦勞した。
新入職員には専属で教えられるよう、チューター制度を導入し、できるだけ勤務時間をそろえる。新入職員のペースに合わせ、焦らずゆっくり確実に覚えていってもらおう。
余計な私語は慎み、仕事に集中できるような環境をつくる。
周りのサポートが必須なので、チューターだけでなく全員で育成する気持ちを持つ。
- ・定期的にミーティングを行い、情報・意思の共有とともにひとりひとりのモチベーションを上げる。
- ・職員同士で協調性を持ちながら、業務を行えるようにしていきたい。

○調理技術の向上

- ・職員同士でよくできたものを参考にし、共有することができた。
- ・少ない人員でも滞りなく業務が行えるよう、省力化できることを見つけ、改善していきたい。

○衛生・安全面

- ・消毒・殺菌の徹底し、利用者に食中毒・感染した方が出ることなく衛生管理ができた。
- ・仕込み方法を工夫することにより、包装されているものの混入を防いだ。
- ・調理器具・食材の扱いに注意を払い異物混入を防いだ。

○栄養ケアマネジメント

- ・できるだけ利用者に話しかけるよう気を付けた。
利用者の様子をしっかり見られるよう、機会を増やしていきたい。

13.居宅介護支援事業所

(1)ケアプラン関係

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受付	3	3	7	0	5	1	2	3	1	3	0	3	31
実施件数	78	80	83	85	85	83	80	81	81	79	80	79	974

(2)サービス利用状況(実人数)

通所介護	44	49	48	49	50	51	48	47	49	46	44	45	570
訪問介護	17	17	17	16	16	16	16	16	15	15	15	15	191
短期入所生活介護	11	11	12	13	11	10	10	11	13	14	10	9	135
短期入所療養介護	3	2	3	3	3	5	5	3	4	2	5	2	40
福祉用具貸与	45	44	47	45	48	46	45	47	47	45	46	46	551
訪問看護	6	6	8	8	7	7	9	6	7	8	8	9	89
通所リハビリ	17	18	18	18	20	20	20	20	19	18	19	19	226
訪問リハビリ	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	6
訪問入浴	2	2	2	2	3	3	3	3	4	3	3	3	33
計	145	149	155	154	159	159	157	154	159	152	150	148	1841
利用事業所数	46	48	49	49	50	49	51	48	50	52	49	47	588

(3)申請代行

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険 (区変・更新)	3	4	2	5	4	4	3	4	5	3	6	4	47
住宅改修	2	0	0	1	2	2	0	1	0	2	2	1	13
福祉用具購入	1	0	3	2(3)	1	1	0	1	1	2	0	3	15(※16)
計	6	4	5	8	7	7	3	6	6	7	8	8	75

※福祉用具購入品の数

- ・平成29年度は、ケアプラン点検は入った事で、改めて業務を見直す事ができ、また皆でアセスメント表等、書式を作り直すことが出来た。
- ・平成29年度、最後の方は多少プラン件数が少なくなりましたが、昨年度よりもケアプラン数を増加することが出来た。
- ・毎年課題に挙げているが、パソコンの入力、書類作成等が追いつかず、たまってしまいう状況である。

⇒出来るだけ早めに入力するよう、時間の使い方を考えて業務を行う。

14.地域包括支援センターおおい

(包括的支援事業実施業務実績報告書)

1 相談

○相談件数 (単位:件)	時間内	時間外
①来 所	143	1
②電 話	3,030	36
③訪 問	934	4
④その他	68	0
合 計	4,175	41

※その他とは、電子メール・FAX等の場合。

○相談者の区分 (単位:件)

①本 人	1,425
②家族・親族	1,206
③介護支援専門員	450
④介護サービス事業所職員	853
⑤行政関係者	397
⑥関係機関	450
⑦民生委員	85
⑧近隣・知人	60
合 計	4,926

※複数可

○利用者基本情報作成件数(単位:件)

作成件数
13

※利用者基本情報を提出すること

○介護予防事業支援表作成件数(単位:件)

介護予防サービス計画費作成件数
0

※利用者基本情報を提出すること

○相談内容 (単位:件)

①介護相談	194	
②介護保険サービス	2,921	
③介護保険の地域支援事業	216	
④保健・医療・福祉	736	
⑤権利擁護	21	
⑥安否確認	18	
日常生活全般	⑦生活面	458
	⑧家族	22
	⑨金銭面	18
	⑩住居	43
	⑪近所・地域	25
	⑫その他	37
合 計	4,709	

※複数可

(単位:件)

介護予防ケアマネジメント費作成件数	
A-要支援 1	145
A-要支援 2	192
A-事業対象者	18
C-要支援 1	0
C-要支援 2	0
C-事業対象者	0

2 権利擁護業務

○相談件数 (単位:件)		新規	継続
成年後見制度(再掲)		6	2
消費者被害(再掲)		0	0
困難事例(再掲)		6	4
虐待対応	①相談件数(再掲)	2	1
	②訪問件数(再掲)	0	0
	③立入につなげた件数	0	0
	④やむを得ない措置での入所及び養護老人ホームでの入所に至った件数	0	0

○内容(虐待) (単位:件)

虐待	身体的虐待	3
	経済的虐待	0
	心理的虐待	0
	性的虐待	0
	介護放棄	0
合計		3

※複数可

3 ネットワーク構築(包括主催)

(単位:回)

①地域連携に係る会議	1
②多職種連携に係る会議	4
③ケアマネ支援に係る研修等	1
④担当者会議	0
⑤出前講座実施	14
⑥一般介護予防事業(びんしゃんクラブ)	22
⑦地域介護予防活動支援事業	1
⑧自主グループ	72
⑨訪問型介護予防事業	0
⑩オレンジカフェ運営	6
⑪その他	1
合計	122

4 会議等への参加

(単位:回)

①介護保険サービス担当者会議	0
②地域関係者主催の会議	0
③市主催地域ケア会議	9
④地域密着型運営推進会議	4
⑤権利擁護に係る会議	10
⑥介護予防事業関係	23
⑦その他	50
合計	96

※活動報告書を添付すること。

5 広報活動等

(単位:回数・延人数)

①センターの広報	0	0
②権利擁護に係る広報	0	0
③交通安全アドバイス	4	151
④介護予防の普及・啓発	1	45
⑤その他	0	0
合計	5	196

※活動報告書を添付すること。

15. 平成 29 年度 あんしんセーフティネット事業 報告

支援対象者	主な支援内容
① 左目が失明している。右目の調子も悪いが所持金がなく受診ができない親子世帯	交通費、医療費
② 入院中に保険料を滞納してしまった。予定外の入院費の支払いもあり年金での生活が立ち行かなくなった単身世帯	光熱費、食料(フードバンク)
③ 夫の会社が倒産し収入がなくなり、失業保険での生活となった。就職活動するもなかなか決まらず困窮状態から抜け出せないフィリピン人の夫婦。	光熱費、食料(フードバンク、購入)、医療費
④ 死別した夫の借金の名義が長男になっているため、返済を余儀なくされている。就労しているが、給料をローン会社に差押えされているため手元に残る金額が少なく困窮している親子世帯	光熱費、電話、家賃、食料(フードバンク)
⑤ 翌月頭よりパートに出る予定があるが、給料が翌月半ばとの事で、当面収入の見込みがない。子供手当や子供のバイト代も生活費の足しにしているが、生活が安定しない親子世帯	食料(購入、フードバンク)、光熱費、携帯代、日用品
⑥ 夫の母のグループホーム利用料(自費分)が長期渡り滞っており退所を迫られている。夫婦ともに精神面に軽度の疾患があり安定した職に就けないため収入も安定しない親子世帯	施設利用料(自費分)
⑦ パートで収入を得る事ができるようになったため生活保護が解除になったが、精神疾患があるため仕事を休むことも多く収入は十分ではなかった。給料を日払いにしてもらい、なんとか生活していたが家賃の滞納により退去勧告が出ってしまった親子世帯	家賃
⑧ 年金で何とか生活出来ていたが、急病により入院を余儀なくされ入院費を年金で賄った。貯金がなかったため退院月の生活費が賄えなくなった単身世帯	光熱費、電話代
⑨ 祖母が自分の年金で家賃の支払いをしていたが、住宅機構より退去勧告が出され調べた結果2ヶ月滞納していた。父は引きこもりで就労しておらず孫にあたる本人が生計を立てている2世代同居世帯	家賃